

全自動輸血管理システム
仕様書

平成28年 1月

社会福祉法人 恩賜
財団 済生会川内病院

平成28年 1月 25日

入札業者 御中

鹿児島県薩摩川内市原田町2番46号

社会福祉法人^{恩賜}財団 済生会川内病院

用度課課長代行 橋之口 秀憲

(公 印 省 略)

備品購入(仕様書)について

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
早速ですが、当院としましては別紙仕様書の通り購入を計画しております。つきましては仕様書(No.15-73)を作成しましたので、該当するものであれば下記の書類等を準備され期限までに提出して頂きますようお願い致します。また、該当しない場合は、ご面倒でも応札仕様書にその旨を記載され提出して頂きますよう重ねてお願い致します。

以上

記

- ・ 応札仕様書
- ・ 該当機種のカatalog
- ・ 備品見積書(税込)
- ・ 消耗品見積書
- ・ 保守に関する資料

入札日時：平成28年2月12日(金) 14時30分

入札会場：新管理棟4階 第一会議室

問合せ先

〒895-0074 鹿児島県薩摩川内市原田町2番46号

社会福祉法人^{恩賜}財団 済生会川内病院

TEL 0996-22-8936(直通) FAX 0996-22-8949

担当者：中央検査部主任 仲野 精一郎

用 度 課 大久保 淳平

仕 様 書

I. 概要

全自動輸血管理システム1式は、下記に示す調達物品であり、本仕様書に示す性能・機能を満たし、かつ当院の運用に沿った装置・システムであること。

II. 調達内容

全自動輸血管理システム一式として調達する物品の名称、型式、数量及び構成内訳は下記の通りとする。

調達物品名：バイオラッド(株)製 全自動輸血管理システム 一式
(内訳)

1. 全自動輸血装置(IH-500 システム)

- 1-1 カード用全自動輸血検査装置 IH-500 × 1
- 1-2 PCセット IH-Com × 2
- 1-3 UPS(IH-500用) × 1
- 1-4 カード用遠心機 ID-Centrifuge 24S × 1
- 1-5 カード用恒温機 ID-Incubator 37S × 1
- 1-6 IH-500用架台 × 1
- 1-7 デスクトップ型パソコン × 1
- 1-8 インクジェットプリンター × 1
- 1-9 同定支援ソフトウェア × 1

III. 導入場所

社会福祉法人 ^{恩賜}財団 済生会川内病院 手術室

IV. 調達物品に備えるべき技術的要件の概要・本入札における評価基準

- (1) 本品調達物品に係る性能機能及び技術等（以下「性能」という。）の要求用件（以下「技術用件」という。）は別途に示すとおりである。
- (2) 技術的要求用件は全て必須の要求要件である。
- (3) 必須の要求要件は、必要とする最低限の要求要件を示しており、入札機器の性能がこれを満たしていないとの判断がされた場合には不合格となり、落札決定の対象から除外する。
- (4) 本入札は最低価格落札方式とするが、予定価格を超えた場合は落札対象から除外する。但し、全社が予定価格を超えた場合はこの限りではない。
- (5) 必要書類を提出する際は、封書に封印をして提出すること。また、見積書には単品ごとの定価・実納入価も可能な限り記載すること。
- (6) 落札業者決定については、最低価格落札方式であるため、即日開札・通知とする。

調達物品に備えるべき技術的要件
(性能・機能に関する要件)

1. 全自動輸血検査装置本体は以下の要件を満たすこと。

- 1-1 血液型 (ABO 式、Rh 式)、不規則抗体スクリーニング (クームス法、酵素法)、不規則抗体同定試験 (クームス法、酵素法)、交差適合試験、間接クームス試験、直接クームス試験を全自動で測定可能であること。
- 1-2 測定原理はゲルカラム凝集法であること。
- 1-3 検体・試薬の分注、加温、遠心、判定を全自動で実施する機能を有すること。
- 1-4 処理能力は 1 時間あたり最大で血液型が 45 検体以上、不規則抗体スクリーニングが 65 検体以上、血液型 + 不規則抗体スクリーニングが 30 検体以上であること。
- 1-5 遠心機は 12 枚用遠心機を 2 台以上搭載していること。
- 1-6 血球試薬の攪拌 (かくはん) 機能及び保冷機能を有すること。
- 1-7 最大検体架設数 45 検体以上であること。
- 1-8 バーコードによる検体・試薬の自動管理機能を有すること。
- 1-9 ベンチトップ (卓上機) タイプであること。
- 1-10 検体、試薬分注後の「エアギャップ」のチェック機能を有し、結果の偽陰性を防止する機能を有すること。
- 1-11 血球試薬の冷蔵機能を有し、キャップ開封のままオンボードで 7 日間の安定性を確保出来ること。
- 1-12 血球試薬は最大 34 種類以上搭載可能なこと。
- 1-13 当院の輸血管理システムと接続すること。その費用は備品見積に含むこと。

2. 操作用端末は以下の要件を満たすこと。

- 2-1 CPU は、Intel 社製 Core i5 2.70GHz 相当以上の性能・機能を有すること。
- 2-2 メモリー容量は、8.0GB 以上であること。
- 2-3 物理容量 415GB 以上のハードディスクを本体に内蔵すること。
- 2-4 OS は、マイクロソフト社製 Windows7 相当以上の性能・機能を有すること。
- 2-5 液晶モニターは装置一体型のタッチパネルスクリーンであること。
- 2-6 無停電電源装置を有し、不慮の瞬間停電に備えること。

3. その他

- 3-1 配送費、組立設置費、試運転調整費、既存品搬出費、解体処分費等は込みとすること。組立設置費には、床張替え及び壁紙張替え費用も含むものとする。
- 3-2 物件は未使用の新品であること。
- 3-3 下取り対象物件がある場合、下取りとすること。また、下取り費用が発生する場合は下取り費用のみを記載した見積書を提出すること。
- 3-4 記物件の納品完了 (検収日) の期限は、平成 28 年 3 月 31 日までとする。
- 3-5 入札機器の医療用器具に関しては、入札時点で薬事法に定められている薬事の承認を得ている物品であること。
- 3-6 指定された納入場所において本体の据付、運転、調整を行うこと。但し、代理店を通じて納品する場合、メーカー及びディーラーは必ず立ち会うこと。メーカー単独は不可。

- 3-7 本装置の使用者及び関係者に対してメーカー担当者より操作説明・保守等についての説明、教育を行うこと。
- 3-8 納品引渡しは、全ての機器が正常に作動し、即使用出来る事を確認し、検収報告書(要確認)、取扱説明書等を提出、当院スタッフへの取扱説明した上で納品完了とする。
なお、書類上不備のある場合はこれを却下する。
- 3-9 取扱説明書等(取扱説明書・保証書・緊急連絡網・日常点検簿)を全てバインダー等にファイリングして提出すること。
※不備の場合は納品検収とは認めない。日常点検簿はデータとしても提出すること。
- 3-10 アフター体制が万全であり、緊急連絡網が確立されていること。
- 3-11 修理・問い合わせ等が発生した場合、迅速に対応できること。
- 3-12 本装置に関し、使用するであろう消耗品がある場合は、全て見積書も添付すること。
但し、メーカーが直接納品する場合、参考価格として提出すること。
- 3-13 保守等を締結する必要がある装置に関しては、その仕様書・見積書を添付すること。
なお、今回はフルメンテナンス契約(定期点検：年1回)の金額も評価に加味するため可能な限り実納入価に近い形で見積ること。
- 3-14 日本語の操作マニュアルを提供するものであること。
- 3-15 本装置納品完了後12ヶ月は無償保証期間とすること。
- 3-16 点検が必要である装置に関しては、納品引渡し完了、1ヶ月後、6ヶ月後、1年後定期点検(無償点検)を実施し、報告書を提出すること。
- 3-17 メーカーが推奨する日常点検簿(チェック表)を添付すること。無い場合は作成すること。
- 3-18 取扱説明を実施する際、説明内容の議事録をとり、また説明会を実施している写真を添付し提出すること。
※議事録は、説明日時・説明者名・出席者名・説明項目・説明した内容及び質問等があった際、質疑応答の内容も記載すること。
※写真は、説明をしている側からの撮影とし、受けている者の顔がわかるものであること。
- 3-19 過去3年以内に、当院に対して納品または保守の実績があること。但し、病院側が承認した場合は可とする。
- 3-20 見積金額(税込み本体)は万円単位とし、また購入決定業者は売買契約書を提出すること。
- 3-21 本仕様に関して疑義が生じた場合には、担当者と協議しその指示を仰ぐこと。
また、本件買入の際に知り得た情報については、第三者に対して絶対に漏洩してはならない。
- 3-22 本入札に対し辞退する場合は、別添「辞退届」に必要事項を記載し、封書に封印して提出すること。辞退するときのみ事前提出可とし、その際は用度課担当者へ直接提出すること。
- 3-23 装置支払は、検収終了月の末締め2ヵ月後より支払い開始とし、6ヶ月以内に完了とする。

以上